

グリーンレポート

2023年9月26日

1. 米国の消費市場について
 2. ミレニアル世代、Z世代の消費行動等について
 3. 米国企業における環境経営事例の紹介
- 【コラム】ESGを巡る米国の分断

近年、地球規模の気温上昇は様々な問題を引き起こしており、気候変動対策は全世界における喫緊の課題となっています。米国においても、ハリケーンによる洪水被害や、竜巻による家屋倒壊および人命被害、異常高温による森林火災などの自然災害が頻発しており、国民の大きな関心事の一つとなっています。特に、ミレニアル世代やジェネレーション Z と呼ばれる若い世代は、環境や人権、貧困、ジェンダー差別などの社会問題に対する意識が高いことで知られています。これらの世代は商品やサービスを購入する際に、企業による社会問題に対する取組みを判断材料にする上、企業等が実態を伴わず、あたかも環境に配慮した取組みをしているようみせかけるグリーンウォッシングに対してはSNSを通じた不買運動を行うなど厳しい対応を行うため、企業にとっては自社のビジネス運営においても気候変動対策の重要性は高まっています。本稿では、米国における消費者動向の観点から、環境対策の重要性について解説したうえで、求められる企業行動や取組み事例について紹介します。

1. 米国の消費市場について

1.1 米国の消費市場

こちらは信用金庫とそのお取引先向けとさせて頂いております。

ご覧になりたい場合は、お近くの信用金庫（検索は[こちら](#)）までご相談ください。

[続きを読む](#)